

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

川崎医科大学は、建学の理念に基づいて、社会の要請にこたえ得る有能な医師を養成することを目的としている。この目的を達成するために教育目標及び卒業認定・学位授与に関する方針に示す医学部卒業時の到達目標を掲げて、「良医」を育成する教育を行っている。

本学で学ぶために必要な以下の資質と姿勢を備え、さらに、これらを入学後も知的好奇心をもって主体的に発展させることのできる人材を受け入れる。

求める人材像

- 1. 意志と情熱**
地域社会に関心を持ち、医学・医療を通して、そこで生活する人々の健康と福祉に貢献する強い意志と情熱を有する。
国内外の医療に関心を持ち、広い視野から人々の健康と福祉を考える姿勢を有する。
- 2. 共感性と思いやり**
他者の尊厳を尊重し、他者の「こころ」や痛みに関感できる思いやりと優しさをもって行動できる。
- 3. 協調性とコミュニケーション能力**
他者と良好な関係を築き、協働するための基本的なコミュニケーション能力を有する。
チーム内に生ずる困難に対して、誠実かつ適切に対処する姿勢を有する。
自らの考えをわかりやすく伝えることができる。
- 4. 知識と技能**
基礎的な知識と技能を幅広く体系的に修得している。
自らの知識と技能を持続的に発展させることができる学習能力を有する。
- 5. 科学的思考力・課題解決能力と表現力**
自ら課題にチャレンジし、科学的思考方法に基づいて課題を解決する姿勢を有する。
課題解決のプロセスや結果を的確に伝えるための基本的な表現力を有する。
- 6. 振り返りと自律性**
自らの健康を維持管理し、規則正しい生活ができる。
他者の意見を謙虚に聞き入れる姿勢を有し、自らの向上につなぐことができる。
社会規範を守り礼節をもって、他者に信頼される行いができる。

入学までに求める学習成果

高校で履修するいずれの科目においても、知的好奇心をもって積極的に学習し、体系的な知識と確かな応用力及び自律的な学習能力を身につけていることを求める。さらに、多様な人々との協働による学習経験や活動経験を有し、その中で培われた対応力・文章力を含むコミュニケーション能力を身につけていることを求める。

入学者選抜方針

本学の求める人材像に適合し、入学までに求める学習成果を身につけた人材を選抜するため、総合型選抜（中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠、特定診療科専攻枠）、学校推薦型選抜（附属高等学校）、一般選抜、地域枠選抜（岡山県地域枠、静岡県地域枠、長崎県地域枠）を実施する。

総合型選抜（中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠）及び地域枠選抜（岡山県地域枠、静岡県地域枠、長崎県地域枠）では、地域医療に意欲のある者を選抜する。

総合型選抜（特定診療科専攻枠）では、本学が指定する診療科（救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科）の医師として社会に貢献したいという意欲と資質のある者を選抜する。

総合型選抜（中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠、特定診療科専攻枠）では、一次合格者は総合適性試験で判定し、二次合格者は総合適性試験、小論文、面接、調査書等を多面的・総合的に評価し判定する。

学校推薦型選抜（附属高等学校）では、適性試験、小論文、面接、調査書等を多面的・総合的に評価し判定する。

一般選抜、地域枠選抜（岡山県地域枠、静岡県地域枠、長崎県地域枠）では、一次合格者は学力試験で判定し、二次合格者は学力試験、小論文、面接、調査書等を多面的・総合的に評価し判定する。

<学力に関する試験>

総合型選抜（中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠、特定診療科専攻枠）：

理数系及び語学系の基礎学力と総合読解力や論理力、人文社会を含めた幅広い教養を有していることを見極めるために総合適性試験を行う。

学校推薦型選抜（附属高等学校）：

基礎知識を体系的に理解し、応用力を有していることを見極めるために適性試験を行う。

一般選抜：

医学を学ぶ上で基盤となる体系的な知識と確かな応用力を見極めるため、英語、数学、理科の学力試験を行う。英語ではコミュニケーションに必要な知識、読解力、表現力を、数学では論理的、数量的な思考能力を、理科では自然・生命の仕組みに関する十分な知識と科学的思考力を中心に評価する。

地域枠選抜（岡山県地域枠、静岡県地域枠、長崎県地域枠）：

医学を学ぶ上で基盤となる体系的な知識と確かな応用力を見極めるため、英語、数学、理科の学力試験を行う。英語ではコミュニケーションに必要な知識、読解力、表現力を、数学では論理的、数量的な思考能力を、理科では自然・生命の仕組みに関する十分な知識と科学的思考力を中心に評価する。

<小論文>

文章を読み、その内容を的確に読み取り、必要に応じて要約や詳述をする能力、また、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる能力を評価する。

<面接>

医学を学ぶ意欲、積極性及び自律性を有することを確認し、コミュニケーション能力、社会に向き合う態度、協調性、他者を尊重する姿勢、本学を志望した理由、自己PRなどで医学を学ぶ者としての適性を見極め評価する。

総合型選抜（中国・四国地域出身者枠、霧島市地域枠）及び地域枠選抜（岡山県地域枠、静岡県地域枠、長崎県地域枠）を志望する者に対しては、将来、地域医療に従事する意欲を有することを確認する。

総合型選抜（特定診療科専攻枠）を志望する者に対しては、本学が指定する診療科（救急科、総合診療科、麻酔・集中治療科）の診療に従事する意欲と適性を有することを確認する。

<調査書>

高校における学習成果、学修態度、課外活動などを確認する。